

第2回道の駅整備検討委員会

日 時 令和元年 11 月 7 日 (火)

10 時 00 分から

場 所 議会棟 4 階委員会室

次 第

1.あいさつ

2.議 題

(1) 報告事項

道の駅現地視察の実施報告について

(2) 検討事項

①道の駅の候補地選定の考え方について 【資料①】

候補地の抽出、候補地の絞り込み

②ニーズ調査の方法について 【資料②】

調査方法、調査内容

③整備コンセプトについて 【資料③】

整備コンセプトの検討項目

④今後の検討スケジュールについて 【資料④】

(3) 次回検討委員会について

①第3回道の駅整備検討委員会における検討事項について

②開催予定について

(1) 報告事項

道の駅現地視察の実施報告について

道の駅の整備に係る基本構想及び基本計画の策定の参考としていただくため、5月20日に野田市道の駅整備検討委員会委員による先進地の視察を実施しました。視察箇所につきましては、当該委員会の委員となっております加藤委員が駅長を務めていた千葉県南房総市の「道の駅 とみうら枇杷倶楽部」の現地視察をはじめ、道の駅木更津「うまぐたの里」他2カ所の見学を行いました。

- 1 日時 令和元年5月20日(月)午前9:00～
- 2 場所 別紙 日程表のとおり 委員8名、事務局2名参加
- 3 内容

(1)道の駅とみうら枇杷倶楽部の施設概要について(50分)

加藤委員(元道の駅とみうら枇杷倶楽部駅長)

【説明テーマ】

- ① 道の駅ありきでなく、その地で地域振興に欠けている機能は何なのか。
- ② 道の駅の機能のバランスと「とみうら枇杷倶楽部」が果たす地域の役割について
- ③ 最小限の自社製造と委託製造
- ④ 道の駅「プラットフォーム」 についてそれぞれ説明を受けました。

【説明要旨】

まず、その地域で地域振興に欠けている機能を見つけ出し、その機能を道の駅に持たせるべきだと考える。来訪者にあわせた広域情報の発信は重要となる。当道の駅は、南房総市の情報発信基地としての役割をはたしており、他の4つの道の駅の赤字もカバーしている。道の駅の経営には、観光客の平準化を念頭にした経営が必要となる。びわ製品は自社でも、その他は委託にしている。多品種を継続するには有効である。そうすることで、経営を効率化し、当駅のように最初は小規模でも、少しずつ拡大している。

道の駅に機能はなくても、市内にある施設を紹介する機能などをもてば、情報が集中してくる情報拠点となる。

【その他】

道の駅は、資金の規模で最低限のものからスタートする方法もある。

JAは関わっていない。

観光の情報発信の経費は相当かかっているが、今後絶対必要な機能と考える。

(2)施設見学 以下の2施設を見学しました。

- 道の駅「保田小学校」 廃校利用、宿泊あり
- 道の駅木更津「うまぐたの里」 民間経営

【とみうら枇杷倶楽部】

ショップ、レストラン、ギャラリー、軽食コーナー、休憩所がコンパクトにまとめられている。レストランにはテラス席（屋外）もあり、脇を流れる小川越しに菜の花畑が見え、南房総をいう土地柄を印象付けている。

578千人
(H29聞き取り)



【保田小学校】

廃校となった保田小学校を、「都市交流施設・道の駅 保田小学校」として整備された。

600千人
(推定)



【木更津うまいたの里】

2017年10月にオープン！瞬く間に人気スポットとなった木更津市初の道の駅「うまいたの里」は、木更津きっての名産品・ピーナッツを全面に推したエンタメ空間が話題で、数多くのメディアの取材がある。

2000千人
(推定)

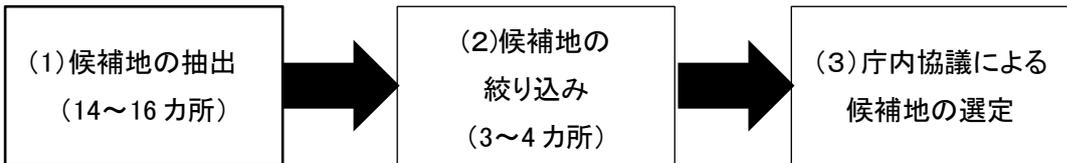


名称	所在地	登録日 (開駅日)	タイプ	隣接道路	敷地面積 m ²	駐車場				トイレ		
						面積	普	大	障	男	女	障・多
とみうら	南房総市	H5.4 (H5.11)	単独	国道 127	8,600	3,200	65	15	4	10	8	1
保田小学校	鋸南町	H27.4	単独	県道 34	14,353		104	5	2	13	9	2

■道の駅の候補地選定の考え方について

4(b 9Pb Ã/õ ... †4E b4Ä Ö !8o
 Ñ9T34 †µuZ 6• &i Ø±A^8' @“}€•G\ °3û5 b 6• 4(2°_8 KZ 8•G\ c
 rN qv 5 0[^2ó*f<}€•
 ÑQb V[°3ûó²b & -_ 2#Ý @??~MB^8G\ •È bÜ «j @^8G\ +i l b s8j
 @^8G\^] l b 4Ä Ö @ Óu}€•

1 敷地選定の選定フロー



(1) 候補地の抽出

- [Redacted]
- [Redacted]

(2) 候補地の絞り込み

- [Redacted]
- [Redacted]

• これらの評価を数値化して優先順位を決めて絞り込みを行う。

”ûrÅ&Å•

交通条件	集客	交通量が多いこと。 主要道路との交差点にあること。 敷地近傍で施設にアプローチできる右折信号があること。
	交通安全	信号機を増やさないこと(渋滞を助長しない)。 道路の規格に応じて、信号間隔を確保すること。
	集荷	日常的に農産物を運んでもらえる立地であること。
土地条件	面積確保	駐車場面積を確保できること。 拡張の余裕があること。
	ハザードマップにおける浸水予測の有無	ハザードマップにおいて浸水が予測されていないこと。 浸水実績がないこと。
	開発計画	開発計画との調整が必要ないこと
条周件辺	景観	眺望や景観に優れていること。
	周辺への影響	周辺が住宅地ではないこと。

